

# 特別調査「中小企業の設備投資の動向について」

(特別調査については、全地域調査依頼先600先からの有効回答のみを集計した調査結果となっています。)

## 問1

貴社における今後の経営方針について、下記の1～5の中から一つだけ選んでお答えください。また、その方針は5年前に比べてどのように変化しましたか。下記の6～0の中から一つだけ選んでお答えください。

(経営の方向性)

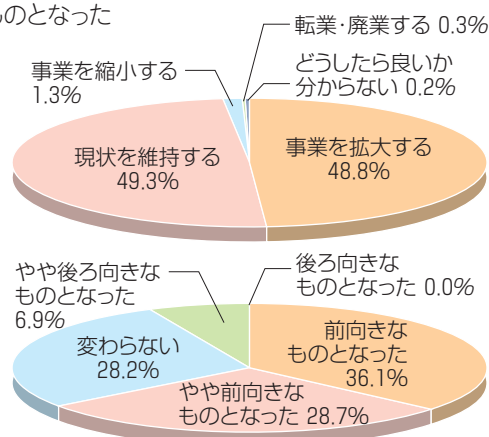
1. 事業を拡大する
2. 現状を維持する
3. 事業を縮小する
4. 転業・廃業する
5. どうしたら良いか分からない

(5年前比)

6. 前向きなものとなった
7. やや前向きなものとなった
8. 変わらない
9. やや後ろ向きなものとなった
0. 後ろ向きなものとなった

自社の今後の経営方針については、「現状を維持する 49.3%」、「事業を拡大する 48.8%」「事業を縮小する 1.3%」「転業・廃業 0.3%」の順となっており、全体の約半数の企業が事業拡大を考えるなど景気回復が伺える結果となりました。

また、5年前に比べて自社の経営方針の変化については、「前向きなものとなった 36.1%」、「やや前向きなものとなった 28.7%」と64.8%の企業が前向きになったと回答しています。反対に「やや後ろ向きなものとなった 6.9%」「後ろ向きなものとなった 0.0%」であり、「前向き」-「後ろ向き」の判断D.Iは、57.9%となり、5年前に比べて業況が堅調に推移している結果となりました。

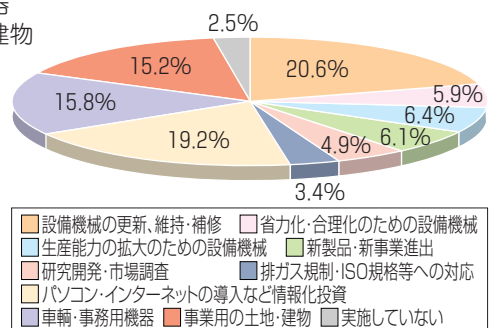


## 問2

貴社では、平成17年度にどのような内容の設備投資を実施しましたか。下記の1～0の中から主要なものを3つ以内で選んでお答えください。

1. 設備機械の更新・維持・補修
2. 省力化・合理化のための設備機械
3. 生産能力の拡大のための設備機械
4. 新製品・新事業進出
5. 研究開発・市場調査
6. 排ガス規制・ISO規格等への対応
7. パソコン・インターネットの導入など情報化投資
8. 車両・事務用機器
9. 事業用の土地・建物
0. 実施していない

平成17年度の設備投資の内容については、「設備機械の更新・維持・補修 20.6%」、「パソコン・インターネットの導入など情報化投資 19.2%」、「車両・事務用機器 15.8%」、「事業用の土地・建物 15.2%」が主な設備投資の内容となっています。また、全体の2.5%の企業については、設備投資は実施しなかったと回答しています。

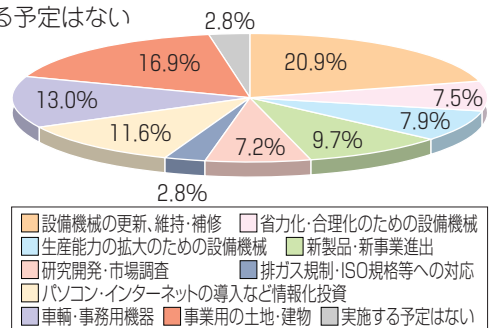


## 問3

貴社では、平成18年度にどのような内容の設備投資を実施する予定ですか。下記の1～0の中から主要なものを3つ以内で選んでお答え下さい。

1. 設備機械の更新・維持・補修
2. 省力化・合理化のための設備機械
3. 生産能力の拡大のための設備機械
4. 新製品・新事業進出
5. 研究開発・市場調査
6. 排ガス規制・ISO規格等への対応
7. パソコン・インターネットの導入など情報化投資
8. 車両・事務用機器
9. 事業用の土地・建物
0. 実施する予定はない

平成18年度の設備投資の内容については、「設備機械の更新・維持・補修 20.9%」、「事業用の土地・建物 16.9%」、「車両・事務用機器 13.0%」、「パソコン・インターネットの導入など情報化投資 11.6%」、「新製品・新事業進出 9.7%」が主な設備投資の内容となっています。また、18年度において全体の2.8%の企業については、設備投資は実施しないと回答しています。



問4

貴社における、平成18年度の設備投資計画の増減見通し(平成17年度実績比)について、下記の1~5の中から一つだけ選んでお答え下さい。また、平成18年度の設備投資総額について、下記の6~0の中から一つだけ選んでお答えください。

(増減見通し「18年度/17年度」)

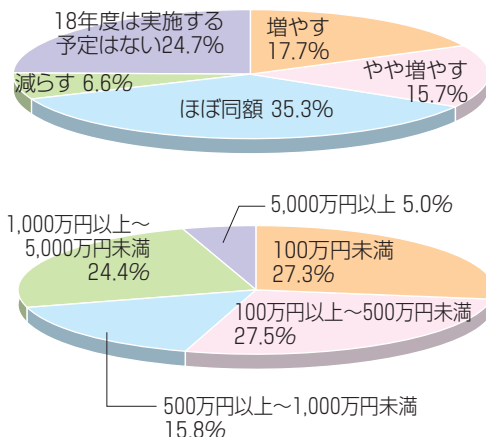
1. 増やす
2. やや増やす
3. ほぼ同額
4. 減らす
5. 18年度は実施する予定はない

(設備投資総額「18年度」)

6. 100万円未満
7. 100万円以上~500万円未満
8. 500万円以上~1,000万円未満
9. 1,000万円以上~5,000万円未満
0. 5,000万円以上

平成18年度の設備投資計画の増減見通しについては、「増やす 17.7%」、「やや増やす 15.7%」、と33.4%の企業が平成17年度以上に投資額を増やすと考えています。反対に「減らす 6.6%」となっており、「増やす」-「減らす」の判断D.Iは26.8%と、平成18年度の設備投資計画については、平成17年度に比べて増加する見通しとなっています。

また、平成18年度の設備投資総額については、「100万円以上~500万円未満 27.5%」、「100万円未満 27.3%」、「1,000万円以上~5,000万円未満 24.4%」、「500万円以上~1,000万円未満 15.8%」、「5,000万円以上 5.0%」となっており、全体の70.6%の企業は1,000万円未満での設備投資を考えている結果となっています。



問5

当面の貴社の設備投資計画を考えるうえで、懸念される材料(リスク)は何だとお考えですか。下記の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 人材確保難
2. 原油など原材料価格の上昇・高止まり
3. 顧客需要の低迷や競合激化などによる販売不振
4. 金利の上昇、為替相場の変動
5. 資金調達難

6. 環境問題など新しい規制への対応
7. 主要取引先企業などの事業縮小・撤退
8. 後継者問題・事業承継問題
9. 海外(中国・アメリカなど)の経済情勢
0. その他

自社の設備投資計画において懸念される材料(リスク)については、「顧客需要の低迷や競合激化などによる販売不振 26.6%」、「金利の上昇、為替相場の変動 18.4%」、「人材確保難 16.7%」、「原油など原材料価格の上昇・高止まり 10.9%」が設備投資計画を考えるうえで主に懸念される材料(リスク)の内容となっています。

